

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、21～24 台を示し、平年並み～やや高めでした。

## 〔漁況概要〕

中小型まき網---月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1 統当たり1.2トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1 統当たり4トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシが1日1 統当たり1.5トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1 統当たり3kgの水揚げで、前週の9%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1 統当たり1.1kgの水揚げで、前週の28%（前年を下回った）。

定置網----対馬西岸地区では、ブリなどが1日1 統当たり1.38kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1 統当たり4.31kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり1.90kgの水揚げで、前週の32%（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/20～6/24の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、輪島沖で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、3日延7隻、総計297箱、1航海最高73箱、平均42.4箱。スルメイカ（20～30入）253箱、ケンサキイカ（3立）44箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第6-10号 6県ケンサキイカ情報（令和6年度 第1号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>